

2020年4月10日（金）

主 題：「その時、何が起こったか」

—十字架上で—

テキスト：マルコの福音書15章24～41節

はじめに

- ・今日は、私たちはイエス・キリストが十字架にかかられた記念すべき日を迎えています。神はイエス・キリストを通して、旧約聖書の預言を成就されました。とくにエルサレムにおける、最後の数時間は最高潮に達した時でした。
- ・本日のテキストは、イエスの最後の数時間を記録しています。イエスは、「この日」の「この時」のために来られたお方です。キリスト教カレンダーでは、「この日」を「受難日」(Good Friday)と呼んでいます。
- ・では、イエスの最後の数時間に何が起こったのでしょうか。次の3点をご一緒に覚えてみましょう。

大切なポイント

1. 9時に起こったこと 25-32節

- ・イエスは午前9時に十字架刑につけられました。「その時」の様子が次のように記録されています。
- 15:26 イエスの罪状書きには、「ユダヤ人の王」と書いてあった。
- 15:27 彼らは、イエスと一緒に二人の強盗を、一人は右に、一人は左に、十字架につけた。
- 15:28 【本節欠如】
- 15:29 通りすがりの人たちは、頭を振りながらイエスをののしって言った。「おい、神殿を壊して三日で建てる人よ。」
- 15:30 十字架から降りて来て、自分を救ってみろ。」
- 15:31 同じように、祭司長たちも律法学者たちと一緒にあって、代わる代わるイエスを嘲って言った。「他人は救ったが、自分は救えない。」
- 15:32 キリスト、イスラエルの王に、今、十字架から降りてもらおう。それを見たら信じよう。」また、一緒に十字架につけられていた者たちもイエスをののしった。
- ・十字架刑は恐ろしい、また恥ずかしい極刑でありました。イエスは、十字架をかつぎ長い道を歩まれました。その時、ローマ兵にムチ打たれ、疲労した体を起こしながら、ゴルゴタの刑場に向かい、一步一步黙々と歩まれました。それは、毛を刈られる羊のようでした。この十字架刑は、群衆に見せしめとする処刑方法でもありました。
- ・十字架にかけられたイエスは、釘づけられたと記録されています。両手に打たれた釘に、全体重が重くかかりました。それは体が引き裂かれるような痛みと言われます。さらに時間とともに、呼吸することが困難になっていくものです。
- ・人々はその光景を見ました。しかし、彼らはイエスをメシアとして見ることはありません。

んでした。彼らはイエスを見ました。しかし、イエスを本当に見ることができませんでした。

- それが昼の3時間にわたり続きました。

2. 12時に起こったこと 33節

15:33 さて、十二時になったとき、闇が全地をおおい、午後三時まで続いた。

- これはイエスが、物理的に最も苦しみを経験された時でした。
イエスは全人類の罪を背負われました。それは、イエス時代の人々の罪だけではなく、それ以前の罪も背負われました。そして、それ以降の人々の罪も背負われました。神の御子が、人類の罪を背負われた時でした。
- 私たちに、到底理解できない、また計り知ることができない多くの罪を背負われました。イエスは死に価する罪は犯されませんでした。しかし、イエスは死に至る罪を犯したとして、処刑されました。
- 聖書は、「闇が全地をおおい、午後3時までつづいた。」と記録しています。
私たちは闇をどう理解するのでしょうか。闇はイエスがいない人間の心を表します。暗闇の中で生きることは、大変困難なことです。
- 神は、その時全人類の罪の刑罰をイエスの身の上に置かれました。
これは、同じく私たちが理解することが難しいことです。

3. 3時に起こったこと 34-37節

15:34 そして三時に、イエスは大声で叫ばれた。「エロイ、エロイ、レマ、サバクタニ。」
訳すと「わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか」という意味である。

- 神の御子が天の父なる神から、捨てられたその時でした。
イエスが公生涯のはじめ、ヨルダン川でバプテスマのヨハネから洗礼を受けられました。その時、天から「これはわたしの愛する子」と声が聞こえました。
- その同じ御子が、見捨てられたのでした。なぜ、イエスは見捨てられたのでしょうか。その理由は1つ。私たちが救われるためでした。
- 15:37 しかし、イエスは大声をあげて、息を引き取られた。
その時、何が起こったのでしょうか。
15:38 すると、神殿の幕が上から下まで真っ二つに裂けた。
- 神殿の幕とは、至聖所と聖所の間にある大きな幕（高さ約20m、横幅10数m、幕の篤さ約10cm、両脇から馬が引っ張らせても破れない強固なもの）でした。
- 大祭司が1年に1度しか入ることができなかった至聖所が、開かれました。
至聖所には罪ある人間は入ることは許されませんでした。動物の犠牲によって罪が取り除かれた大祭司だけが、ただ入ることができた聖なる所です。
神殿の幕が真二つに裂けたことによって、今ははばかりことなく、至聖所（神が臨在される所）へ入る道が開かれました。
- ヘブル人への手紙9章

9:12 また、雄やぎと子牛の血によってではなく、ご自分の血によって、ただ一度だけ聖所に入り、永遠の贖いを成し遂げられました。

- 皆さん。キリスト教のシンボルは十字架ですが、なぜ十字架でしょうか。
イエスが誕生した際の「飼い葉桶」でも良かったかもしれません。イエスの洗足を記念するタオルでも、良かったかもしれません。あるいは、イエスがヨルダン川で受洗された時に現れた鳩であっても、良かったかもしれません。
いいえ、十字架でなければなりませんでした。
- それは、私たちが深刻な罪ある者であることを悟らせるためです。
十字架はもともと残酷な刑罰でした。凶悪な犯罪人や政権をおびやかすような敵を、処罰する死刑の道具（手段）でした。
- そのような十字架に、なぜ、イエスはかけられたのでしょうか。
それは、神に背を向けた罪によって、パラダイスから追い出された私たちが受けるべきものでした。しかし、イエスは私たちの身代わりとしておかかりくださいました。神の前に、罪が赦されるためでした。

『例 話』

- 話しは変わりますが、エルサレム旧市街には「ドロローサ」（悲しみの道）があります。そこはイエス・キリストが、カルバリ丘に向かい十字架を背負い歩かれた道でした。そこには14のステーションがあり、イエスのみ苦しみを偲び歩くことができます。キリスト教史約2000年間、聖徒たちは毎年その「ドロローサ」を歩き続けてきました。
- しかしながら、今年は「ドロローサ」を歩く人は誰1人いませんでした。「新型コロナウイルス」のため外出禁止令が出たためでした。約2000年の教会史において、このようなことは一度もありませんでした。
- 皆さん。今や、世界の日時計はわずかな残り時間しか示していません。今年を受難日、私たちは主イエスの前に襟を正したいと思います。では、今晚のメッセージをまとめてみましょう。

ま と め

主 題：「その時、何が起こったか」

—十字架上で—

- イエスも十字架の正面に立ったローマ兵であった100人隊長は、次のように告白しました。
15:39 イエスの正面に立っていた百人隊長は、イエスがこのように息を引き取られたのを見て言った。「この方は本当に神の子であった。」
- 私たちも今晚、イエスの十字架の正面に立とうではありませんか。
そして、何と告白するのでしょうか。自問自答しようではありませんか。

* God bless you !